

別
紙

令和6年度

日本大学付属高等学校等第四十一回文芸コンクール
応募のための注意事項

日本大学付属高等学校等文芸コンクール運営委員会
日本大学学務部付属学校課

- 一 応募は、令和6年度実施要項による。
応募規定に反した者は、受賞後でもその資格を取り消す。
- 二 作品は、在校中に自分が創作したもので、未発表のものに限る。
- 三 用紙は、**すべて縦書きB4判四百字詰め**の原稿用紙を使用する（※各ジャンルとも、**折らないで**提出すること）。
- 四 ジャンルと作品数、枚数について
 - ① 俳句は、一人三句を連記する。一校での応募数は、各々三十人以内。
 - ② 短歌は、一人三首を連記する。一校での応募数は、各々三十人以内。
 - ③ 詩は、一人二編以内。一校での応募数は、二十編以内。
 - ④ 小説は、原稿用紙**二十枚程度**。一校での応募数は、五編以内。
 - ⑤ 読書感想文は、原稿用紙**三〜五枚程度**。一校での応募数は、十編以内。
 - ⑥ 原稿用紙の枚数は、多すぎず、少なすぎない程度にすること。
- 五 作品は、すべて自筆原稿であること。
ただし、**小説に限り、パソコンの使用を認める**（用紙は縦書きB4判で、四百字詰めにする）。
- 六 筆記用具は、**万年筆かボールペンを用い、色は黒とする**。
- 七 文字は、正しくていねいに、楷書体で書く。
- 八 原稿には、**ジャンル名・学校名・学年・氏名（ふりがな）**を明記する。

九 特殊な読み方については読みがなをふること。

十 各ジャンルの注意事項（別添資料「原稿用紙の書き方」を参照すること）

・ 俳句（一人三句を連記）

- ① 校名は二行目に書くこと。
- ② 学年・氏名（ふりがな）は三行目に、下を二字あけて書くこと。
- ③ 句は五行目から書くこと。
- ④ 句ごとに改行し一句を一行に書くこと。
- ⑤ 各句の間に空白行をはさむこと。

・ 短歌（一人三首を連記）

- ① 校名は二行目に書くこと。
- ② 学年・氏名（ふりがな）は三行目に、下を二字あけて書くこと。
- ③ 歌は五行目から書くこと。
- ④ 歌ごとに改行し一首を一行（書けなければ二行）に書くこと。
- ⑤ 各歌の間に空白行をはさむこと。

・ 詩（二人二編以内）

- ① ジャンル・校名は一行目に書くこと。
- ② 表題は二行目に、上を三字あけて書くこと。
- ③ 学年・氏名（ふりがな）は三行目に、下を二字あけて書くこと。
- ④ 本文を五行目から書くこと。
- ⑤ 二編応募する場合は、一編ごとに用紙を変え、二人分として応募すること。

・ 小 説（一人一作品）

- ① 原稿用紙**二十枚程度**とすること。
- ② **通し番号**をつけ、**折らないで、ホチキスで右上をとじる**こと。
- ③ ジャンル・校名を一行目に書くこと。
- ④ 表題は二行目に、上を三字あけて書くこと。
- ⑤ 学年・氏名（ふりがな）は三行目に、下を二字あけて書くこと。
- ⑥ 本文は五行目から書くこと。
- ⑦ 句読点、かぎかっこなどの記号は一字分として扱うこと。
ダッシュ（「――」）**や三点リーダー**（「……」）は**二字分**使用すること。

・ 読書感想文（一人一作品）

- ① 原稿用紙**三〜五枚程度**とすること。
- ② **通し番号**をつけ、**折らないで、ホチキスで右上をとじる**こと。
- ③ ジャンル・校名を一行目に書くこと。
- ④ 表題は二行目に、上を三字あけて書くこと。
- ⑤ 学年・氏名（ふりがな）は三行目に、下を二字あけて書くこと。
- ⑥ 本文は五行目から書くこと。
- ⑦ 句読点、かぎかっこなどの記号は一字分として扱うこと。
ダッシュ（「――」）**や三点リーダー**（「……」）は**二字分**使用すること。
- ⑧ 作品を引用する際は原稿用紙の欄外に**引用箇所のページ数**を書き添えること。

担当の先生方へのお願

- 一 原稿はすべて**B4判**に統一し、**折らないで**、二枚以上になる場合は**右上をホチキス**として提出してください。
- 二 原稿に**ジャンル名・学校名・学年・氏名**（ふりがな）が記載してあるか確認してください。
（各ジャンルの注意事項を参照してください）
- 三 別添「エントリー番号記入について」を参考にして、原稿の**右上にエントリー番号**を記入してください。
- 四 **コピーを三部作り**、原稿とあわせて**計四部（B4判）**を用意してください。それぞれ**エントリー番号順に並べた状態で提出**してください。**コピーの濃度は濃いめ**でお願いします。
- 五 応募作品には、「応募状況」・「応募者一覧表」を添え、一括して送付してください。
- 六 原稿に**誤字・脱字**などがないように**清書時に確認**してください。
- 七 **著作権の侵害**に注意してください。特に**盗作等についての確認**は必ず行ってください。
出版物等紙ベースで発表された作品だけでなく**インターネット上に公開されている作品**にも著作権は発生します。
- 八 小説のパソコン使用時の書式について
 - ◎ **B4判用紙横向き**を使用してください。
 - ◎ **縦書き原稿用紙書式**（縦二〇×横二〇）を使用してください。
 - ◎ フォントの種類は問いませんがポイント数は**十二ポイント**にしてください。
 - ◎ 原稿用紙をA4サイズで出力してからB4判に拡大コピーする場合は、文字が大きくなり過ぎないように注意してください。

九 入賞作品を作品集に掲載する際、俳句・短歌・詩に関しては原則として原稿のまま掲載します。小説・読書感想文に関しては加筆・訂正することがあります。

十 「文芸コンクール作品集」は次のような表記上のルールに従って編集しています。原稿清書時に留意してください。

① 「」内の、最後の句点（。）は表記しない。

○ 誤「ごめんな、透。ごめんな。」

○ 正「ごめんな、透。ごめんな」

② 「?」、「!」の後は一字分あける。

○ 誤「えっ?おどろいた!」

○ 正「えっ? おどろいた!」

③ 会話文の後の、「」と言った」と表記するような場合は、一段下げないで書き始める。

○ 誤「そんなことないよ」

と私はやさしく言った。

○ 正「そんなことないよ」

と私はやさしく言った。

④ 小説・読書感想文に関して、次の場合は表記をひらがなに改めることがあります。

○ 接頭・接尾語 (例) 人達↓人たち 子供↓子ども)

○ 助動詞 (例) 読んだ様だ↓読んだようだ 読ま無い↓読まない)

○ 形式名詞 (例) 読む事↓読むこと 言った通り↓言ったとおり)

○ 補助動詞・補助形容詞 (〔例〕 読んで見る↓読んでみる 夢では無い↓夢ではない)

十一 読書感想文の中で引用する本文にも著作権があります。大幅な改変は著作権の侵害になります。転記ミスも改変とされる場合があります。引用箇所は正確に本文を写したものでなければなりません。作品集に掲載する際に確認作業を行っていますが、**正しく引用することの重要性**について生徒への注意を喚起してください。

以 上